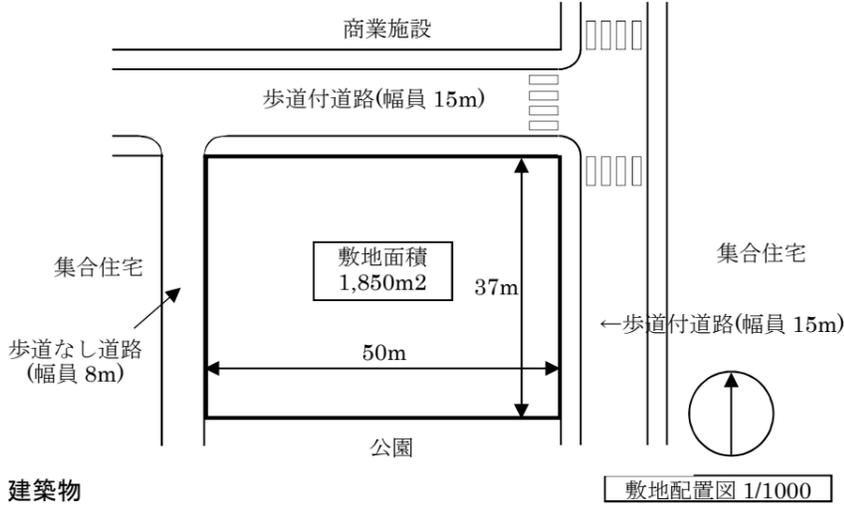


### I. 設計条件

この課題は、待機児童問題を抱えている、とある地方都市に「保育所」及び「児童館・子育て支援施設」を併せ持つ子ども・子育て支援センターを計画するものである。  
施設運営主体は、保育所部門及び児童館子育て支援部門とも同じ組織であり、施設を一体的に管理運営することを前提としている。

#### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1 箇所当たり 6m までできるものとする。
- 敷地は、第二種住居地域及び防火地域にしてされている。また、建ぺい率の限度は 80% (特定行政庁が指定した角地における加算を含む)、容積率の限度は 300% である。なお、日影についての特別の配慮はしなくてよい。
- 支持地盤は平均 GL-25m にあり、傾斜はほぼない。
- 地下水及び積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



#### 2. 建築物

- 構造、階数等  
地上3階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,500m<sup>2</sup> 以上、2,900m<sup>2</sup> 以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋外テラスは、床面積に算入せず、エレベーターシャフトは容積率に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	原則、保育所部門は上足とし、1 階もしくは 1-2 階に設ける。	特記事項	床面積
保育所部門	乳児室	・屋外テラスを介して屋外遊戯場に面する。 ・もく浴室、調乳室を含む。 ・もく浴室、調乳室を除く乳児 1 人あたりの面積を 5m <sup>2</sup> 以上とし 10 人分の面積とする。	適宜
	保育室 1/2/3	・屋外テラスを介して屋外遊戯場に面し、計 3 室設ける。 ・室内から使える手洗い、便所を設ける。 ・床暖房設備を設ける。	各約 40m <sup>2</sup>
	遊戯室	・雨天時やお遊戯で用いる。	約 60m <sup>2</sup>
	ランチルーム	・南側公園に面する等、楽しい食事環境に配慮する。	約 80m <sup>2</sup>
	調理室	・外部から出入口を設ける。ランチルームに面する。	約 40m <sup>2</sup>
	スタッフ室	・玄関に面して受付カウンターを設ける。	適宜
	医務室	・医師の診断を行う室とする。	
	玄関	・エントランスホールから直接アクセスする。 ・ゲタ箱等を設ける。	
	病児病後児保育室	・外部から直接出入りできる扉を設け、スタッフ室との動線に配慮しつつ、他の園児と接触しないように設ける。	約 40m <sup>2</sup>
	児童館・子育て支援部門	子育てプラザ	・事務スペース、案内カウンター、授乳室、一時子ども預かりスペース、サロン等を設け、誰もが立ち寄りやすいよう開放感を持たせ、ガラス張りとする。
セミナー室		・子育てプラザ近傍に設ける。	約 80m <sup>2</sup>
相談室		・子育てプラザ近傍に設ける。	約 25m <sup>2</sup>
ロッカー室		・男女 2 室設ける。	計約 50m <sup>2</sup>
工作室		・準備室を設ける。	約 80m <sup>2</sup>
調理実習室		・準備室を設ける。	約 80m <sup>2</sup>
子育てホール		・天井高さを 6m 超えとする。 ・可動ステージを設ける。	約 250m <sup>2</sup>
図書室		・貸出カウンター、絵本読み聞かせコーナー、書架、テーブル、いすの他、図書事務室を設ける。	約 300m <sup>2</sup>
共用・他	エントランスホール	・風除室及びブックポストを設ける。 ・上部に 40m <sup>2</sup> 以上の吹抜けを設ける。	適宜
	事務室	・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・6 人程度の事務スペースを設ける。	
	更衣室	・男女別に設ける。保育所部門の職員も利用する。	
	カフェ	・子育て芝生広場からもアクセス可能とする。	
設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。		
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

#### 3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として 1 台分、一般用として 1 台分、管理として 1 台分、保育所調理室サービス用として 1 台分を設ける。その他は公園の駐車場を利用する。
- 保育所の施設として、直径 6m の円を内包する屋外遊戯場(150m<sup>2</sup> 以上とし、庇下部、屋外テラス、足洗い場、手洗い場、ゲタ箱等は含まない)を設ける。加えて、公園に直接出入り出来る扉を設ける。また、遊具を 3 点以上計画する。

- 駐輪場は、平面駐輪とし、10 台分以上(2.0mx0.5m)を設ける。
- 住民が気軽に利用できる子育て芝生広場(面積 150m<sup>2</sup> 以上)を地上に設ける。
- (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

#### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティに配慮し、主要な室については、自然採光、通風及び日射遮蔽に配慮し、かつパッシブデザインを取り入れた計画とする。
  - 各部門について適切にゾーニングした計画とともに、保育所部門と事務室との動線に配慮しつつ明快な動線計画とし、かつ避難等にも配慮する。
  - 敷地の周辺環境に配慮すると共に環境負荷低減に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画する。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
  - 天井高さの高い室については、天井落下対策に配慮する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
  - 給水には受水槽を用いるものとする。
  - エレベーターは、利用者用 1 台、図書室サービス用として 1 台、計 2 台設ける。その他のエレベーター及び小荷物専用昇降機等は、必要に応じて設ける。

### II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

#### 1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1 階平面図兼配置図 1/200	① 1 階平面図兼配置図、2 階平面図及び 3 階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)ロ.室名等 ハ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積 ト.上足となる範囲の明示
(2)2 階平面図 1/200	② 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口 ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.駐輪場(台数を明示する。) ニ.通路、植栽等 ホ.屋外遊戯場(直径 6m の円を含む)及び遊具、子育て芝生広場
(3)3 階平面図 1/200	③ 2 階平面図及び 3 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、子育てホールを含み建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、杭以外、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1 階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

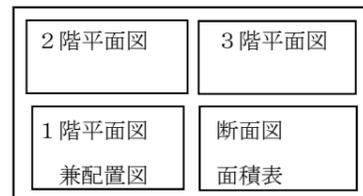
#### 2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- 地上 1~3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

#### 3. 計画の要点等(答案用紙 II に記入)

- 建築計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - 夏期、冬期及びその中間期において、パッシブデザインとして工夫した点
  - 保育所部門においてゾーニング及びセキュリティに工夫した点
- 構造計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に設定した目標耐震性能(地震力の程度と建築物の状態)
  - 設定した目標耐震性能に対して、建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - 子育てホールの天井落下対策について、留意した点
  - 選定した基礎とその理由
- 設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 保育室に設ける床暖房設備の熱源方式とその採用した理由
  - 建築環境負荷低減として採用した設備 3 点とその理由

#### 4. 図面レイアウト(製図試験.com 課題のみの指示で本試験では解答用紙 I に記載)



添削受講生は、図面、要点を同封して下記住所までお送り下さい。エスキースは見ません。  
〆切は 10 月 3 日大阪事務局必着とします。可能な限りですが是非がんばってください。  
添削は 10 月 4 日に発送します。  
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 1-12-24 イーグレット 2F 製図試験.com 事務局  
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を 4 つ折りして角 2 号封筒を使用してください。間に合わないとなったら、速達、宅急便をご利用ください。



試験場	受験番号	氏名

(1) 建築計画について、次の要点等を具体的に記述する。  
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと


② 夏期、冬期及びその中間期において、パッシブデザインとして工夫した点

夏期:
冬期
中間期

③ 保育所部門においてゾーニング及びセキュリティに工夫した点


(2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物に設定した目標耐震性能(地震力の程度と建築物の状態)


② 設定した目標耐震性能に対して、建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由


③ 子育てホールの天井落下対策について、留意した点


④ 選定した基礎とその理由

基礎:

(3) 設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 保育室に設ける床暖房設備の熱源方式とその採用した理由


② 建築環境負荷低減として採用した設備3点とその理由

1)
2)
3)